

# 激! 赤 報

( 第二号 )

☒ 突撃兵	雑誌「緑地」又=小列革命家の立言 に於ける批判	1
	◦ 共同生活雑誌(創刊号)の補足	4
	◦ 補給された下内論議の本質に於て	12
☒ 狙撃兵	◦ XX共同生活の雑誌	5
☒ 通信兵	◦ 雑誌 その2	14
補) 突撃兵	通信兵雑誌文(創刊号)批判に於ける 若干の修正	18





我々の生活は、共同生活の自由な発展を目的とするものである。その自由は、個人主義の自由と異なり、共同生活の自由である。...

我々の生活は、共同生活の自由な発展を目的とするものである。その自由は、個人主義の自由と異なり、共同生活の自由である。...

我々の生活は、共同生活の自由な発展を目的とするものである。その自由は、個人主義の自由と異なり、共同生活の自由である。...

共同生活の総括

共同生活とは、個人主義の自由な発展を目的とするものである。その自由は、個人主義の自由と異なり、共同生活の自由である。...

共同生活とは、個人主義の自由な発展を目的とするものである。その自由は、個人主義の自由と異なり、共同生活の自由である。...

我々の生活は、共同生活の自由な発展を目的とするものである。その自由は、個人主義の自由と異なり、共同生活の自由である。...

我々の生活は、共同生活の自由な発展を目的とするものである。その自由は、個人主義の自由と異なり、共同生活の自由である。...

我々の生活は、共同生活の自由な発展を目的とするものである。その自由は、個人主義の自由と異なり、共同生活の自由である。...

相互主義

相互主義とは、個人主義の自由な発展を目的とするものである。その自由は、個人主義の自由と異なり、共同生活の自由である。...

相互主義とは、個人主義の自由な発展を目的とするものである。その自由は、個人主義の自由と異なり、共同生活の自由である。...













### Ⅲ 自己批判

一、一九二〇年×月×日、午×時×分より、×月×日前×時×分まで、郵務署股走( )による自己批判である。

二、一九二〇年×月未だ×月未まで、綱領同社、綱領討議の重要を理解せず、一貫して積極的に関わりなかつた態度、その思想を自己批判する。

三、指図する立場、組織する立場を理解しなかつたこと。批判する際に指図者、組織者と同じ地位に立つて批判するのでなく、「リテラツク一般」でなかつたことによる自己批判である。

四、×××、×××のとき、前もつて組織的に確認しなかつたこと。組織的確認なく会つたことによる自己批判である。以上。

長征。根拠地。共産主義理論。

— 通信兵 —

通信兵大線格文(創刊号)に対するもの

私ならの批判について若手千の

修正

(一)の批判又は、私と彼との間の論争が「同志ではない」という相互の確証によつて、「非同業的に」書いたものであつたこと、及び彼ら新しく出された「線格」そのものの文章によつて、私は彼との同志的討議を行ない得るかの判断を得て、従つて内容についてはないが、「書き方」については、そのした条件の変化(一方的ではあるが)をもちつて、自己批判的に書き換へたと考へてゐる。が、既に印刷されたものになつたので、「二」どの事を報告して、彼との今後の同志的討議の展開を行なう事を明らかにする。

(二)条件の変化の具体的内容について

①共同生活に於る理解の一定の接近がもたらされた。②××の考へる根本的相違が、彼の自己批判によつて共通の討議すべき内容をもち得た。③創出されるべき文章×××について共同の回答を彼の「線格」そのものによつて得られた事、以上である。「この事から私は彼に対する「同志でない」と云ふ確証を一方的に放棄する等、及び、④彼の線格文二つについて正当な考察の対象とし同志的批判を書く。⑤私の考へてゐる至内容について彼の同志的討議の素材として提出する。⑥残された諸問題について、彼との同志的討議を継続する。

以上を明らかにし、具体的内容は、次のように行なう。

— 大線格文 —